

# 地域おこし協力隊のふくしま散歩！



地域おこし協力隊  
モフ 絵里子

雪の降り積もる福島町で、朝夕の雪かきからスタートした青少年交流センター「新潮学舎」ハウスマスターの日々も、早いもので半年以上が経過しました。

入寮前面談の時には、自身のコミュニケーション能力に対する不安を口にする新1年生がほとんどでしたが、いざ寮生活が始ってみると、男子棟、女子棟のコミュニティーラウンジ、スタディースペース、食堂と、寮の設備のほとんどをまんべんなく利用し、楽しそうに和気あいあいと過ごす姿が多く見られます。

春には、町民の皆さまとのモルック大会が開催され多くの生徒が参加させていただきました。



モルック大会に参加



初めてのそば打ち体験

1996年にフィンランドで開発された数字の付いた木の棒を倒す人気のアウトドアゲーム・モルック。

私も初めてプレイしましたが、簡単な中にも駆け引きがあり奥の深いゲームだということが分かりました。15歳の高校1年生から、80代のベテラン町民プレイヤーと一緒に楽しんだ貴重な機会となりました。

初夏の頃の「そば打ち体験」も思い出に残る行事です。

蕎麦打ち初体験の私も生徒たちも、名人の親切で的確なご指導の元に蕎麦打ちの楽しさを知りました。出来上がった蕎麦のおいしかった事！「水とそば粉だけなのに、なぜこんなにもおいしくなるのか？今まで食べた中で一番おいしい蕎麦でした!!」という女子生徒の感想に思わず大きく頷いた次第です。

残暑厳しい中、福島大神宮例大祭に参加した生徒たちもいます。

奴行列や巫女姿、いつもと違う装束で練り歩く緊張の面持ちの中にも町民の皆さまや町役場の方々との交流が常にあり、素晴らしいお祭りだと感じました。

こうして私たちが日々安全に暮らし、素晴らしい経験を積めるのも福島町の皆さまのお陰だと心より感謝し、邁進し続けたいと思っています。



福島大神宮例大祭に参加！  
奴行列で町内を練り歩きました